

カキ推奨品種「早秋」の特性

カキ「早秋」は、9月下旬～10月中旬に出荷できる完全甘柿品種で、早生種としては食味が良く、「太秋」につなぐ品種として普及が期待される。

農業研究センター 果樹研究所 落葉果樹部(担当者：谷口 政弘)

研究のねらい

本県のカキの早生種は、西南暖地の特性を活かして早出し出荷が行われているが、主体品種である渋柿の「刀根早生」と不完全甘柿の「西村早生」は、近年需要が落ち込み、低価格で推移している。このため、これらに替わる早生の完全甘柿品種を選定し、早生カキの品質向上を図る。

研究の成果

< 来歴 >

カキ「早秋」は、独立行政法人 農業技術研究機構 果樹研究所ブドウ・カキ研究部(元農林水産省果樹試験場カキ・ブドウ支場)が、昭和63年に、母：「伊豆」×父：「109 - 27」(「興津2号」×「興津17号」)の交雑実生により育成したもので、カキ第5回系統適応性検定試験を経て平成12年にかき農林9号として登録されたものである。

1. 樹勢は中程度で、樹姿は開張性である。展葉は「富有」より7日ほど早い、「西村早生」より3日ほど遅い。
2. 雌花の開花期は「西村早生」より4日遅く、「富有」より3日早い。雌花の着生は多く、雄花は着生しない。
3. 単為結果力、種子形成力ともあまり強くない、早期の生理落果がやや多い傾向にある。
4. 成熟期は「西村早生」とほぼ同時期で、本県では9月下旬～10月中旬が収穫適期と考えられる。
5. 果皮色は赤く、カラーチャート値は6程度である。果形は扁円形でやや乱れやすく、果頂部が深く凹入する。また、浅く不明瞭な側溝が生じやすい。
6. 果重は250～300g程度で「富有」並である。肉質はやや軟らかく緻密であり、果汁が多く、食味は良好である。糖度は15度程度で「西村早生」並みである。
7. へたすきの発生はほとんどないが、条紋が少し発生する。日持ち性は良好である。

「早秋」は、早生の完全甘柿品種で食味が良く、「太秋」につなぐ品種として普及が期待される。

普及上の留意点

1. 早期落果がやや多いので、受粉条件(受粉樹の混植、ミツバチ放飼等)を充実させる。
2. 展葉期が早いので、晩霜常習地帯への植栽は避ける。
3. 「西村早生」か「刀根早生」が栽培できる地域は栽培可能と考えられる。夏季の気温が十分上がらない高冷地では渋味が残る恐れがあるので、このような地域では露地栽培は適さない。

表 1 樹の特性(平成 10 ~ 13 年)

調査力所	品 種	樹勢	枝の発生 密度	展葉期	花芽着生		早期落果	後期落果
					雌花	雄花		
a) 松橋町	早 秋	中	密	3/31	多	無	中	無
	伊 豆	中	中	4/ 6	多	無	少	無
	富 有	中	中	4/ 7	多	無	少	無
b) 広島県 安芸津町	早 秋	中	中~密	4/14	多	無	少~中	無~少
	西村早生	中	中	4/11	中	中	少	無~少
	伊 豆	弱	中	4/17	多	無	少	無~少

a) 熊本県農業研究センター 果樹研究所調査

b) 独立行政法人 農業技術研究機構果樹研究所ブドウ・カキ研究部調査

表 2 開花期、収穫期及び果実品質(平成 10 ~ 13 年)

調査力所	品 種	開花盛期	収穫盛期	果重 (g)	糖度 (Brix)	肉質	果皮色 (カラチャート値)	条紋
a) 松橋町	早 秋	5/ 8	10/ 1	302	14.9	密	5.9	中
	伊 豆	5/10	10/14	216	14.4	中	4.8	無
	富 有	5/11	11/14	271	15.7	中	5.1	無
b) 広島県 安芸津町	早 秋	5/26	10/ 3	253	15.1	密	6.9	少
	西村早生	5/22	10/ 3	232	15.0	粗	5.9	無~少
	伊 豆	5/27	10/11	236	15.3	密	6.5	無

a) 熊本県農業研究センター 果樹研究所調査

b) 独立行政法人 農業技術研究機構果樹研究所ブドウ・カキ研究部調査



早 秋